

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

<b>事業所名</b>	若宮園グループホーム
日付	平成17年2月7日
<b>評価機関名</b>	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での老人性痴呆疾患専門チーム員歴 5年 特別養護老人ホームでの認知症高齢者介護歴 4年
<a href="#">自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）</a>	
<a href="#">評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）</a>	
<b>事業者のコメントを見る</b> （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

**外部評価の結果**

<b>講評</b>
全体を通して（特に良いと思われる点など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅団地のなかの小高い丘に位置しており、静かな自然環境が提供されています。</li> <li>・入居者と職員が共に生活する人として穏やかに過ごせており、心地良い雰囲気が出ています。</li> <li>・玄関が施錠されておらず、自由に出入りでき、開放感があります。</li> <li>・入居者の尊厳に関わる排泄・入浴に関しての対応に十分な配慮が為されています。</li> <li>・家族の訪問が多く、家族会としての行事もあります。</li> <li>・同一法人、関連法人に医療機関がある為、医療面での迅速な対応が可能です。</li> <li>・利用料金が入居者、家族にとって利用しやすい低料金設定となっています。</li> </ul>
特に改善の余地があると思われる点
建物位置の関係で日光のあたりにくい屋内部分があり、将来的要望として、光をもっと取入れ、みなが団樂できるようなスペースの確保ができるとさらに良いように思います。

**運営理念**

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	家庭的な雰囲気のもとで、日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、入居者が有する能力に応じ、自立した共同生活を送ることができる様支援しています。「楽しい我が家」といっていただけるような、やすらぎと安心のグループホームを目指しています。		

**生活空間づくり**

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	入居された方々の一人ひとりが、自由で快適に過ごせる生活環境作りに取り組んでいます。家庭的な雰囲気を大切にしています。		

**ケアサービス**

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

**ケアサービス（つづき）**

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者それぞれの生活歴を大切に、自分で「できること」や「したいこと」はして頂くよう支援しています。</li> <li>・居室は基本的にドアを閉め、出入り時は声かけしたり、入浴も一人ずつ行っています。</li> </ul>		

**運営体制**

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット報告書や事故報告書の作成をし、リスクに対する職員の意識を高め、繰り返さぬよう対応・対策の周知徹底に努めています。</li> <li>・職員の配置は適材適所を心掛け、人材の育成にも努力しています。</li> </ul>		